

平成27年度群馬県の就労継続支援B型事業の平均工賃が発表！

群馬県内の就労継続支援B型事業所の平成27年度利用者工賃の集計が発表されました。

みやま工房は、新たな授産事業の取組みもありましたが、群馬県の平均工賃を越えることは出来ませんでした。今年度は、農業事業やレアメタル事業の成果を反映し、更なる工賃の向上を目指したいと考えています。3年目を迎えたキッチンハウスみやまは、昨年度は群馬県の就労継続支援B型事業所の平均工賃を上回り、更には、群馬県の最低賃金の1/3を上回ることができました。

●3ヵ年推移(平成25年度～平成27年度)

年度別工賃実績推移		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		平均月額工賃	平均時給	平均月額工賃	平均時給	平均月額工賃	平均時給
みやま工房	目標	—	設定なし	—	211円	—	121円
	実績	15,779円	205円	14,099円	185円	12,448円	170円
キッチンハウスみやま	目標	—	設定なし	—	343円	—	345円
	実績	実績なし	実績なし	22,062円	359円	21,330円	361円
就労継続支援B型事業所合計 (障害政策課調べ)		16,346円	212円	16,972円	188円	17,080円	206円

平成28年度虐待防止チェックリストの実施！

当法人では、新年度のスタートに合わせ、虐待の早期発見と虐待防止を目的に、下記の虐待防止チェックシートを用いた自己診断を行っています。

チェックシートは、管理職員用と一般職員用とがあり、管理職員用のチェックシートは、「規定、マニュアルやチェックリスト等の整備」、「風通しの良い職場環境づくりと職員体制」、「職員への意識啓発と職場研修の実施」、「利用者の家族との連携」、「外部からのチェック」、「苦情、虐待事案への対応等の体制強化」等の設問から、施設管理上における虐待防止の取組みを自己診断します。

虐待防止チェックリスト (管理職員用)

実施日: 年 月 日

チェック項目: 〇 (実施) □ (未実施) △ (一部実施)

1. 規定、マニュアルやチェックリスト等の整備

2. 風通しの良い職場環境づくりと職員体制

3. 職員への意識啓発と職場研修の実施

4. 利用者の家族との連携

5. 外部からのチェック

6. 苦情、虐待事案への対応等の体制強化

管理職員用

虐待防止チェックリスト (一般職員用)

実施日: 年 月 日

チェック項目: 〇 (実施) □ (未実施) △ (一部実施)

1. 利用者等への体罰など

2. 利用者に対するプライバシーの侵害

3. 利用者への強要制限

4. 職員個人への侮辱

5. 利用者への差別的言動

一般職員用

一般職員用のチェックシートは、「利用者等への体罰など」、「利用者への差別」、「利用者に対するプライバシーの侵害」、「利用者への強要制限」等の設問から、現場で想定される虐待例を挙げ、自己診断します。

チェックシートは集計し、そこから読み取れる法人の課題をまとめ、職員にフィードバックし、虐待の早期発見と虐待防止へと繋がります。

職務チェックシート&接遇の心得チェックシートの実施をしました

当法人では、毎年1回、職員に対し職務チェックシートと接遇の心得チェックシートを用いたセルフ評価を実施しています。職務チェックシートでは、より質の高い福祉サービス事業を目指し常に向上心と改革心を持って職務に取り組む姿勢を、接遇の心得チェックシートは、福祉サービスのプロとしての自覚をもって利用者の方々と接する姿勢を自分自身で振り返るために実施しています。

このセルフチェックに合わせ、職員は希望する管理者や上司との面談をすることが出来ます。また、各部署の上司はセルフチェックの結果に応じて面談が必要と思われる職員と面談を行います。

今回、職務チェックシートでは、15の設問の内、下記の設問について、半数の職員が「できていない・できているか不安だ」と答えています。

- ・個別支援計画の内容を理解し、利用者の支援業務に反映していますか
- ・知識と技術の向上を図り、同僚に対し常に模範モデルとなるように努めていますか
- ・研修等に積極的に参加し、知識・技術の向上に努めていますか

また、接遇の心得チェックシートでは、25の設問の内、下記の設問について、3割を超える職員が「できていない・できているか不安だ」と答えています。

- ・あなたは「忙しい」という気持ちを利用者さんに見せず、穏やかに対応していますか
- ・利用者さんに対し、友達のような馴れ馴れしい言葉を使わずに、丁寧な話し方をしていますか
- ・〇〇ちゃん、愛称、あだ名などで呼ばず、きちんと利用者さんを敬い〇〇さんと呼んでいますか
- ・利用者さんからの施設の利用に関する事項の説明を求められた際、時間を掛けて親切丁寧に説明をしていますか
- ・あらゆることについて、利用者さんの立場、視線になって考えていますか

このチェックシートの結果は、職員に開示し現場の課題として共有化を図り、個々の改善目標とすると共に、現場全体で改善に取り組んで頂きたいと考えます。また、法人の管理者としては、この結果を踏まえ、職員研修の実施や職員の処遇改善等に繋げて行きたいと考えています。

職務チェックシート

接遇の心得チェックシート

職務チェックシートには、当法人における「3ない運動」として、以下の3つの言葉を記しています。当法人ではこの3つの言葉を職務上の指針とし、様々な障壁を打破したいと考えています。

1. 「捉われない」過去の経験や価値観、先入観に捉われると視野が狭くなる。視点を変えることで新しい発見や活路が見つかる！
2. 「満足しない」進歩とは創造と破壊とを繰り返すこと。今の結果に満足せず、立ち止まらず、常に新たな課題を見つけ挑戦しよう！
3. 「諦めない」できないと思う前に、まずはどうすれば克服できるかを考えるプラス思考が大切。まだまだ諦めるのはまだ早い。

あったかぐんまのハート♡バザールに出店しました！



5月19日(木)、群馬県庁1階県民ホール南側で開催された第7回障害者施設等製品共同販売会「あったかぐんまのハート♡バザール」が開催されました。群馬県内にあるたくさんの障害者施設で作られたお弁当、お菓子、パン、野菜、木工製品、手工芸品などの販売が行われました。

当法人からは、お弁当事業「キッチンハウスみやま」が特製焼豚弁当やオリジナルドレッシング、製菓・製パン事業「麦のゆめ」がパンや、ラスク、クッキーなどの焼き菓子、そして、お饅頭の販売を行いました。お天気もよく多くの方にご来場頂きまして、売れ行きも好調でした。



春の饅頭のふき味噌とよもぎ



新作！ふすまクロワッサン



看板商品のふすまラスク



種類も豊富なふすま入りクッキー



人気の自家製焼豚丼



キッチンの自家製ドレッシング

「福祉ぐんま」の表紙を「山脈」の職員が飾りました！

社福「群馬県社会福祉協議会」が発行する「福祉ぐんま」のNo.256号の表紙を、入社5年目を迎える職員が飾りました。今回、紹介された彼は、大学では教育学部に入學し小学校の先生を目指していましたが、卒業後、異業種である福祉の世界に飛び込んできました。

未経験だった彼も当法人で地道に経験を積み、職場でも重要な役割を担うまで成長しました。紙面インタビューで、福祉の職場は大変なことも多いですが、普通の企業じゃ体験できないことを経験でき、それが自分の力になる。そして、もともと人見知りだった自分でしたが、福祉職は自分が変われる職場なんじゃないかなと語っていたのが印象的でした。



レクリエーションのご案内

絵画教室

日時：6月15日(水) 14:00~15:00
場所：みやま工房 事務棟 2階 会議室
メンバーさんはどなたでも参加できますので、絵に興味のある方はお気軽にご参加下さい。

ソフトボールの練習

日時：6月11日(土) 9:00~12:00
場所：前橋高等特別支援学校グラウンド
持ち物：タオル、着替え、飲み物など
みんなで身体を動かしましょう！

法人からのご案内

こころの健康相談

6月の「こころの健康相談」は下記の日程で行います。相談を希望される方は、事前に予約が必要です。職員までお申込み下さい。

日時：6月24日(金) 11:00~12:00
場所：みやま工房 2階 会議室
担当者：柳沢温子先生（田中病院勤務）



新年度(平成28年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

NPO 法人山脈のメールアドレスが新しくなりました！

法人の最新情報は下記のホームページでご覧になれます！

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営施設 就労継続支援 B型事業所「みやま工房」

就労継続支援 B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)